

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

brother
at your side

フィリピンの製造子会社が第3工場建設

ブラザーインダストリーズ (フィリピン) が第3工場建設 ブラザーグループのプリンティングビジネス拡大に対応 プリンター、複合機と電子文具本体および消耗品製造

第3工場の完成は 2024年1月を予定

ブラザー工業株式会社(社長：佐々木 一郎氏)は、フィリピンの製造子会社である「ブラザーインダストリーズ (BROTHER INDUSTRIES (PHILIPPINE S), INC.)」に第3工場を建設する。総事業費は約80億円で、延床面積は87,453㎡の4階建て。完成は2年後の2024年1月の完成を予定している。

プリンティングビジネス 拡大に伴う製造拠点強化

ブラザー工業の海外製造子会社であるブラザーインダストリーズ (フィリ

ピン)の工場では、2012年に設立。主にプリンター・複合機と電子文具の本体および消耗品などを製造している。

近年の大容量データ通信インフラ整備の加速、ここ数年のビジネスやライフスタイルの変化に伴い、ブラザー製品の需要も増えている。

ブラザーインダストリーズは、ブラザーグループのプリンティングビジネスの拡大に伴い、これまでも生産能力を増強してきたが、さらなる製品販売の増加に備えるため、今回の第3工場建設を決定。これによりブラザー製品の更なる安定供給を旨としていく。

第3工場は事業環境の 変化にも柔軟に対応

ブラザーインダストリーズが建設す

る第3工場は、さまざまな種類のプリンター・複合機の生産が可能のため、今後の事業環境の変化にも柔軟に対応できる施設となる。

また、BCP対策(※1事業継続計画= Business Continuity Plan)として、部品や製品を保管する倉庫機能も兼ね備えることで、物流面で
のリスクが生じた場合にも一定期間は生産の継続と出荷が可能になる。

さらに、太陽光パネルの設置等による再生エネルギーの活用などを進め、「ブラザーグループ 環境ビジョン2050」※2で掲げるカーボンニュートラルの実現にも貢献する。

ブラザーインダストリーズ(フィリピン)は、今後も個客に迅速に価値を届けるとともに、地球環境に配慮した生産活動を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する。

※1「BCP」とは。

事業継続計画(Business Continuity Plan)の頭文字を取った言葉。

企業が、テロや災害、システム障害や不祥事といった危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びることができるようにしておくための戦略を記述した計画書。

※2「ブラザーグループ 環境ビジョン2050」とは。

「CO₂排出削減」に関する2050年度ビジョン。

あらゆる事業活動のカーボンニュートラル(ブラザーグループから排出するCO₂を全体としてゼロにする)とバリューチェーン全体のCO₂排出最小化を目指し、脱炭素社会の形成に貢献していく。

※イラスト提供：ブラザー工業

「ブラザーインダストリーズ(BROTHER INDUSTRIES (PHILIPPINES), INC.)」に第3工場建設！ 完成は2024年1月予定



■ブラザー工業URL → <https://www.brother.co.jp/>